

令和8年度

羽ノ浦小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 自ら学び・考え、ともに高め合える授業の実践
- ねばり強く学習に取り組む態度の育成

校長

森北 和典

学力向上推進員

教頭:福島明子 教頭:林寛子 教務:品川麻衣子
 特支:佐藤仁昭 立田美香 原みづ穂 1年:大建香織
 2年:小笠広美 3年:鈴木真砂子 米崎香織 4年:亀
 尾良枝 5年:土橋友菜 6年:盛田安希

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習に前向きに取り組む児童が多く、基本的な学習内容は定着している児童が多い。 ●活用や説明する問題が苦手な児童がいる。また、学力の二極化の傾向が見られる。	・学習規範を守り、ともに学び合いながら該当学年の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けて、適切に使うことができる。	・発問を工夫・精選し、既習の知識や技能を生かす場面を適宜設定する ・補充プリントやタブレット(ドリルパーク等)を活用し、反復練習ができるようにする。必要に応じて前学年の学習内容の補充を行う。 ・「羽小っ子の学習ルール」を改訂(タブレットの使用を含む)して各教室に掲示し、学習規範の徹底を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペアやグループの活動・学級での話し合いなどに継続的に取り組み、自分の考えを表現しようとする児童が育っている。 ●自分の考えや意見を進んで表現する児童はまだ限られている。また、語彙が少なく、自分の考えやその理由を書き表すことが苦手な児童が多い。文章や資料等から必要な情報を正しく読み取ることが苦手な児童が多い。	・語彙力・読解力を高め、自分の考えに根拠を示して分かりやすく表現し、話し合うことができる。 ・調べ学習や話し合い活動においてタブレット等を効果的に用い、必要な情報を読み取ったり、友達の考えと比較したりして考えることができる。	・考えたり予想したりする時間を取り、ノートに書いたり、話し合ったりする機会を確保し、言語活動の充実を図る。 ・ホワイトボードや付箋・タブレットなどを活用し、思考の流れや根拠を説明し合って思考力や表現力の向上を図る。 ・読書の時間を定期的に設け、語彙の量と質の充実を図れるよう読書活動を推進する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いて学習に取り組む、与えられた課題に真面目に取り組む児童が多い。 ●自分から課題を見付けたり、不得意な学習内容に対して、自分で計画を立てて克服をしようとしたりする児童が少ない。	・自ら課題を見付け、見通しをもってねばり強く課題や家庭学習に取り組むことができる。	・課題を明確にして見通しがもてるように授業を展開し、児童が主体的に学習活動に取り組めるようにする。 ・児童が学習の成果や課題に気付き、進んで努力できるようフィードバックを行う。 ・「家庭学習の手引き」の周知・活用をし、「家庭学習チャレンジシート」の振り返り等で自己評価をして、自主的に家庭学習に取り組む態度を育成する。			